

## 講師紹介



**木村 朗**（鹿児島大学教員、平和学・国際関係論専攻）北九州市小倉出身。日本平和学会理事、東アジア共同体・沖縄（琉球）研究会共同代表。主な著作は、単著『危機の時代の平和学』『市民を陥れる司法の罟』、共編著『終わらないく占領>』『20人の識者がみた「小沢事件」の真実』『21世紀のグローバル・ファシズム』『核時代の神話と虚構』、共著『広島・長崎への原爆投下再考』『核の戦後史』『誰がこの国を動かしているのか』『核兵器禁止条約を使いこなす』など。

**平良愛香** 1968年米軍施政権下の沖縄に生まれる。農村伝道神学校卒業。現在は同校にて教務に携わりつつ、ジェンダー差別や性的少数者の課題、平和・基地・沖縄の問題の講義を担当。立教大学、桜美林大学非常勤講師。平和を実現するキリスト者ネット事務局代表。日本基督教団川和教会牧師。



**高橋博子**（名古屋大学大学院法学研究科研究員、明治学院大学国際平和研究所研究員、アメリカ史専攻、博士号（同志社大学・文化史学）、日本平和学会理事、広島平和記念資料館資料調査研究会委員、第五福竜丸平和協会専門委員） 第2回日本平和学会平和研究奨励賞を受賞。単著『新訂増補版 封印されたヒロシマ・ナガサキー米核実験と民間防衛計画』（凱風社、2012年）、共著『核の戦後史』（創元社、2016年）など。

**ウエイン バート**（カトリック那覇教区司教） 米国フィッチバーグ（マサチューセッツ州）生まれ。75年カプチン・フランシスコ修道会に入会し、1981年に来日して日本語を学び、1983年に米国で司祭に叙階された。2000年から10年間、さいたま教区で神父を務めた外は、長く沖縄で司牧生活を送り、2018年2月12日に那覇教区の司教に叙階された。叙階式では、「日本人、米国人というのは外面的な違い。心は一つ。共に歩んでいきましょう」とあいさつした。

